

日本映画衛星放送株式会社 第40番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成26年7月8日(火) 15時～16時
2. 開催場所 : 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル15階
日本映画衛星放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席 : 委員総数 8名 / 出席委員数 6名
出席委員(順不同、敬称略): 菊地 実・鈴木 嘉一・曾根 和子・田保橋 淳
鳥居 美砂・西 正
欠席委員(順不同、敬称略): 川本 三郎・坂井保之
放送事業者側出席者: 取締役 佐藤 信彦
編成制作局長 宮川 朋之
編成制作部長 澤 尚志
編成制作部 吉田 尚子
番審担当 堤 靖芳
清水 明(記)

4. 議題(1) 審議事項

時代劇専門チャンネル「時代劇ニュース オニワバン!『桃太郎侍』スペシャル」について

(2) 報告事項

日本映画専門チャンネル「東映チャンネル presents 傑作任侠劇場」について

5. 議題(1) 概要

時代劇専門チャンネルでは、数々のオリジナル番組を製作・放送しているが、オリジナル情報番組も大型化したり、視聴者を集めての参加型となった番組が増えている。ついでには、そうした番組の例である「時代劇ニュース オニワバン!『桃太郎侍』スペシャル」をご覧いただき、今後の番組作りの指標とさせていただくことにした。審議ポイントは以下。

- 番組は、新番組の紹介や特集の盛り上げとして、チャンネルの編成に貢献しているか?
- 番組は、独立した1オリジナル番組として、視聴者にとって面白く、見る価値があるか?
- こうした公開収録を行うことは、視聴者サービスとして有意義だと考えられるか?

尚、「時代劇ニュース オニワバン!『桃太郎侍』スペシャル」は、2014年6月、痛快娯楽時代劇「桃太郎侍」が時代劇専門チャンネルに初登場するにあたり、週替わりの10分番組としてレギュラー放送している「時代劇ニュース オニワバン!」の放送時間を50分に拡大し、主演の高橋英樹をゲストとして迎え、視聴者を招いて公開収録した特番。

6. 議題（1）審議内容

- ・本日ご欠席の委員からコメントをいただいたので、読ませていただく。
番宣番組として最高秀逸な出来栄であった。審査委員の立場を忘れ、思わず引き込まれて楽しんだ。観衆の昂奮が直に伝わり、興を添えた。新鮮な驚きに満ちたエピソードやサプライズゲストの登場など、内容は盛り沢山。番組ホストのえなりかずきの軽妙なトークも魅力的だった。
- ・同意見。SNSの目覚ましい普及もあり、イベントも波及効果大きい。今後是非取り組んで欲しい。一つ苦言を呈すると、今回の番組で「桃太郎侍」ファンは喜ぶだろうが、「桃太郎侍」知らない人を惹きつける力は弱かったと思う。
- ・番組としても、視聴者サービスとしても、狙い通りの結果なのではないか。ただ、この番組はあくまでも良き番宣番組であり、やはりオリジナル時代劇がチャンネルをリードしなくてはいけないだろう。
- ・「桃太郎侍」を見たことはあるが、別に思い入れのあるコンテンツではなかった。しかし、この番組を見て、懐かしく思い、見たくなった。加入に大きく貢献する独立したコンテンツではないだろうが、こうした番組が放送されることは良いことだと思う。
- ・既存視聴者を大切にすることが重要だから、これはこれで良いと思うが、ホームページの投稿など見ると40代女性の感想などもあり、こうした若めの方も念頭におきながら番組を企画していくことも、今後必要だと感じた。
- ・チャンネルのターゲットに合った番組だと思った。欲を言えば、40～50代をどう掴むか、というマーケティング的なテーマに、オリジナル番組でもっと取り組んでいただきたい。
- ・バラエティではなく、ドラマの中の役者として、高橋英樹が見たいと思った。そんなふうに思ったこと自体、番組の面白さに乗せられているのだろう。魅力的な番組だった。番組の制作コストに対する費用対効果として、今回の番組をどう捉えているのか？

<事業者回答>

- ・レギュラー番組の拡大版として番組を制作したので、制作費は抑制することが出来た。
「桃太郎侍」初回の視聴率も良く、とても効果があった。
- ・先頃「時代劇まつり in 巣鴨」と題して、やはり「時代劇ニュース オニワバン!」のキャストが、オリジナル時代劇「闇の狩人」のキャストをお招きする形の生放送を行い、巣鴨に約2万人もの人が集まった。我々自身が時代劇専門チャンネルのメディアパワーに驚いた。その後のSNSなどの口コミを見ても、公開収録が大きく寄与しているので、こうした番組づくりを続けていく意味はある。

7. 議題（2）報告事項

1960年代～70年代の日本映画界を、鮮やかに彩った東映任侠映画。その嚆矢と言われる作

品『人生劇場 飛車角』や、藤純子主演による“緋牡丹博徒”シリーズ第1作『緋牡丹博徒』など、これまで放送リクエストを多く頂いていた東映任侠映画の中から特に人気の高い作品を厳選し、4月から6か月連続で、「東映チャンネル presents 傑作任侠劇場」として放送する。もちろん全作品チャンネル初放送。プレミアムチャンネルである「東映チャンネル」とコラボレーションし、相互にチャンネル告知を入れながら、win-win の関係を築く企画として東映任侠映画を放送している。

8. 連絡事項：次回番組審議委員会は、2014年9月9日開催。